

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2019年3月26日提出
【発行者名】	あいグローバル・アセット・マネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 英治
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【事務連絡者氏名】	橋本 美紀
【電話番号】	03-6230-9062
【届出の対象とした募集（売出）内 国投資信託受益証券に係るファンド の名称】	あい・パワーファンド
【届出の対象とした募集（売出）内 国投資信託受益証券の金額】	(1) 当初申込期間 100億円を上限とします。 (2) 継続申込期間 1,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2019年3月22日付で提出した有価証券届出書において、「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 1 ファンドの性格」の説明に不備が、また「第二部 ファンド情報 第2 管理及び運営 2 換金（解約）手続等」の記載に誤記が生じたので、これを訂正するため本届出書を提出いたします。当該箇所につきまして、担当者が作成し、上席者の確認の上、社内のコンプライアンス担当者等によるチェックを行ったものの、これらが不十分であったため発見できませんでした。今般、有価証券届出書提出後に閲覧者から当該箇所に関する照会等が有り、社内で再度確認した際に誤りを検知したものです。今後社内の検証プロセス等を改善し、かかる事態の発生防止に努めてまいります。なお、本訂正届出書4ページから9ページに掲載しております訂正につき、下記のとおり補足いたします。

・4ページ（訂正前）および7ページ（訂正後）の各中段 囲み枠内 STI Financial Group(運用会社グループ)についての説明

（訂正前）（略）（約1,443億円）*で、その運用実績はグローバル評価機関からも高い評価を得ています。

（訂正後）（略）（約1,443億円）*です。

・5ページ（訂正前）および8ページ（訂正後）の各上段 右表 業者の売提示価格 5段目数値

（訂正前）122.10

（訂正後）122.12

・6ページ（訂正前）および9ページ（訂正後）の各上段 概要 6番目説明文

（訂正前）グローバルな資産運用会社からの受賞等、高い評価を得ています。

（訂正後）<削除>

併せて、2019年3月26日付で委託会社の資本金等情報が変更となったことから、「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 1 ファンドの性格」および「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社の概況 1 委託会社の概況」の委託会社情報を最新のものとて開示するため、本訂正届出書を提出いたします。

【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部_____は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書が更新されます。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

<訂正前>

（略）

ファンドの特色

1 外国為替証拠金取引を主な投資対象とします。

- ・先進国通貨（円、米ドル、ユーロ、英ポンドなど）の外国為替証拠金取引に実質的に投資します。
 - ・運用会社が独自に開発したシステムティック取引モデルに基づいて運用を行います。
 - ・用いられる運用戦略は、スポット裁定取引戦略です。
 - ・為替市場の方向性による影響の低減を図るため、同一投資対象の売りと買いを組合せることを基本とします。
- ※「外国為替証拠金取引」の詳細については5ページの解説を参照ください。

2 ファンド・オブ・ファンズ形式で運用します。

- ・投資に当たっては、信託約款に定める「別に定める投資信託証券（「指定投資信託証券」という場合があります。）」の中から選択した投資信託に投資を行います。
- ・有価証券届出書提出日現在の指定投資信託証券（当ファンドが投資可能な投資信託証券）は以下の通りです。

Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio	ケイマン籍外国投資信託（円建） 運用会社：STI JP Limited	主要 投資対象
ユナイテッド日本債券ヘビーファンド （適格機関投資家向け）	国内籍投資信託 委託会社：あいグローバル・アセット・マネジメント株式会社	

▶ STI JP Limited（運用会社）について

「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」新規設定に伴い設立された、当該ファンド専任運用会社です。STI Financial Group が持つ運用手法に基づき運用を行います。

▶ STI Financial Group（運用会社グループ）について

2005年の設立以降、香港を本拠点とし多様な資産運用サービスを提供している金融グループです。グループの運用資産総額は約13億米ドル（約1,443億円）*で、その運用実績はグローバル評価機関からも高い評価を得ています。

*2018年12月末現在。米ドルの円貨換算は、2018年12月末現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売相場の仲値（1米ドル＝111.00円）によります。

※上記2社を併せて、以下「STI社」といいます。

3 原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行ないません。

- ・実質的に投資する外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。したがって、当ファンドの基準価額および分配金は、円と外国通貨との為替相場の変動の影響を受けます。
- ・外国為替証拠金取引において、円資産で差入れられる証拠金については、外貨の対円為替変動の影響を受けません。

（略）

市場動向とスポット裁定取引戦略

この為替相場が 円高米ドル安 あるいは 円安米ドル高に動いたとすると…

円高・ドル安方向				円安・ドル高方向			
取引対象(銘柄)	取引業者	業者の買提示価格	業者の売提示価格	取引対象(銘柄)	取引業者	業者の買提示価格	業者の売提示価格
米ドル-円 スポット	A	95.01	95.04	米ドル-円 スポット	A	122.11	122.13
米ドル-円 スポット	B	94.99	95.01	米ドル-円 スポット	B	122.09	122.11
米ドル-円 スポット	C	95.01	95.03	米ドル-円 スポット	C	122.11	122.15
米ドル-円 スポット	D	95.02	95.05	米ドル-円 スポット	D	122.12	122.16
米ドル-円 スポット	E	95.00	95.03	米ドル-円 スポット	E	122.09	122.10
米ドル-円 スポット	F	94.99	95.04	米ドル-円 スポット	F	122.15	122.16
米ドル-円 スポット	G	95.05	95.06	米ドル-円 スポット	G	122.12	122.12
米ドル-円 スポット	H	95.02	95.04	米ドル-円 スポット	H	122.13	122.14
米ドル-円 スポット	G	94.98	95.00	米ドル-円 スポット	G	122.10	122.12
米ドル-円 スポット	H	95.02	95.06	米ドル-円 スポット	H	122.11	122.14

価格差固定	0.05
-------	------

価格差固定	0.04
-------	------



このように、為替相場の水準や方向性ではなく、上記のような価格差(裁定の機会)が生じるかどうかで収益確保の決め手になります。

以上は米ドル-円の例ですが、他の通貨ペアでも同様に裁定機会を見出すことが可能です。
当戦略においては、取引量の多い通貨ペアを選んで投資します。



当戦略においては、収益機会は市場全体の方向性にほとんど左右されません。
それよりも、「いかに裁定機会を捉えるか」の能力が、運用の巧拙を決定することになります。




当戦略においては、STI社のシステムが、広範な対象市場における値動きを常時観測し、裁定機会を発見し、瞬時に取引注文を実行します。一連の投資プロセスは全てシステムにより自動観測・自動執行されています。



当戦略において、取引対象は24時間動き続ける為替市場の複数の通貨ペア(例:米ドル対円、ユーロ対米ドル)、複数の取引業者にまたがり、かつ市場の価格変化が高速であるため、この投資プロセスをシステムを用いた自動執行によらずに実行することは困難です。STI社は、その独自のシステムを活用することで、高度な裁定取引能力を発揮しています。

運用会社グループ紹介


STIフィナンシャル・グループ (STI Financial Group) について

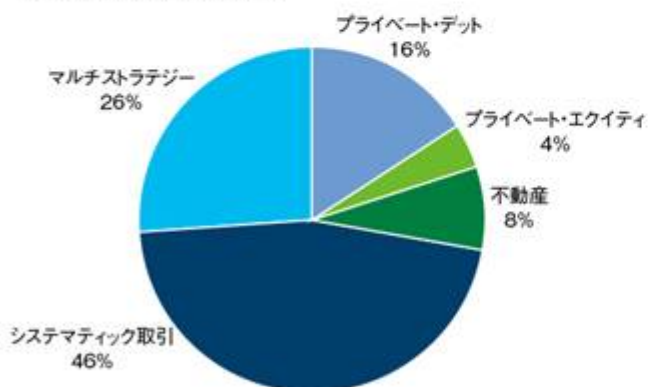
概要

- 2005年の設立以降、アジア地域に特化した、多様な運用サービスを提供しています。
- 香港拠点を中心にビジネスを展開させており、香港、台北、ロサンゼルス、東京といった各拠点にも運用プロフェッショナルを配置しています。
- システマティック取引戦略のみならず、不動産、未公開株式、融資などを投資対象とした運用を行っています。
- 10年超の期間において良好な運用実績を実現させています。グレーター・チャイナ地域の富裕層個人投資家および法人投資家の資金、総額約13億米ドルの資産を運用しています。
- 投資顧問会社、取引先法人等と強固なネットワークを構築し、その専門的見解・情報を得ています。
- グローバルな資産運用評価会社からの受賞等、高い評価を得ています。

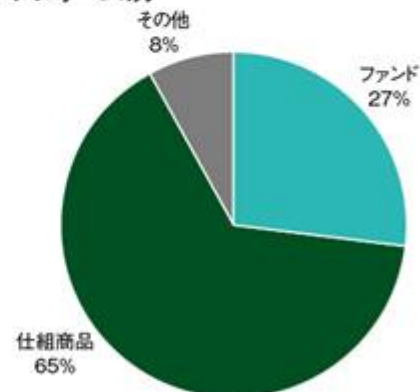
提供している運用プラットフォーム

投資ファンド	仕組商品	個別仕様ソリューション	
プライベート・エクイティ	プライベート・デット	不動産	システマティック取引
ベンチャー・キャピタル	ミドル・マーケット融資	開発	為替スポット裁定取引
グロス・キャピタル	有担保ファイナンス	買収・譲渡	統計手法裁定取引
レバレッジド・バイアウト	スペシャル・シチュエーション	デット	トレンド・フォロー取引
スペシャル・シチュエーション		資産管理	
ファンド・オブ・ファンズ			

運用戦略別残高内訳



プラットフォーム別



上記いずれも2018年12月末時点

特徴・優位性

多様なバックグラウンドを持つ人材で構成された専門家集団	良好かつ確固とした運用成績	多様かつ多数の投資家により選ばれた実績	投資家毎の運用目標に沿って提供される運用戦略・投資手段	卓越したテクノロジー知識を利用した調査・分析
-----------------------------	---------------	---------------------	-----------------------------	------------------------

(略)

<訂正後>

(略)

ファンドの特色

**1 外国為替証拠金取引を主な投資対象とします。**

- ・先進国通貨（円、米ドル、ユーロ、英ポンドなど）の外国為替証拠金取引に実質的に投資します。
 - ・運用会社グループが独自に開発したシステムティック取引モデルに基づいて運用を行います。
 - ・用いられる運用戦略は、スポット裁定取引戦略です。
 - ・為替市場の方向性による影響の低減を図るため、同一投資対象の売りと買いを組合せることを基本とします。
- ※「外国為替証拠金取引」の詳細については後述の解説を参照ください。

**2 ファンド・オブ・ファンズ形式で運用します。**

- ・投資に当たっては、信託約款に定める「別に定める投資信託証券（「指定投資信託証券」という場合があります。）」の中から選択した投資信託に投資を行います。
- ・有価証券届出書提出日現在の指定投資信託証券（当ファンドが投資可能な投資信託証券）は以下の通りです。

Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio	ケイマン籍外国投資信託（円建） 運用会社：STI JP Limited	主要 投資対象
ユナイテッド日本債券ヘビーファンド （適格機関投資家向け）	国内籍投資信託 委託会社：あいグローバル・アセット・マネジメント株式会社	

▶STI JP Limited（運用会社）について

「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」新規設定に伴い設立された、当該ファンド専任運用会社です。STI Financial Group が持つ運用手法に基づき運用を行います。

▶STI Financial Group（運用会社グループ）について

2005年の設立以降、香港を本拠点とし多様な資産運用サービスを提供している金融グループです。グループの運用資産総額は約13億米ドル（約1,443億円）*です。

*2018年12月末現在。米ドルの円貨換算は、2018年12月末現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売相場（1米ドル＝111.00円）によります。

※上記2社を併せて、以下「STI社」といいます。

**3 原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行ないません。**

- ・実質的に投資する外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。したがって、当ファンドの基準価額および分配金は、円と外国通貨との為替相場の変動の影響を受けます。
- ・外国為替証拠金取引において、円資産で差入れられる証拠金については、外貨の対円為替変動の影響を受けません。

（略）

市場動向とスポット裁定取引戦略

この為替相場が 円高米ドル安 あるいは 円安米ドル高に動いたとすると…

円高・ドル安方向				円安・ドル高方向			
取引対象(銘柄)	取引業者	業者の買提示価格	業者の売提示価格	取引対象(銘柄)	取引業者	業者の買提示価格	業者の売提示価格
米ドル・円 スポット	A	95.01	95.04	米ドル・円 スポット	A	122.11	122.13
米ドル・円 スポット	B	94.99	95.01	米ドル・円 スポット	B	122.09	122.11
米ドル・円 スポット	C	95.01	95.03	米ドル・円 スポット	C	122.11	122.15
米ドル・円 スポット	D	95.02	95.05	米ドル・円 スポット	D	122.12	122.16
米ドル・円 スポット	E	95.00	95.03	米ドル・円 スポット	E	122.09	122.12
米ドル・円 スポット	F	94.99	95.04	米ドル・円 スポット	F	122.15	122.16
米ドル・円 スポット	G	95.05	95.06	米ドル・円 スポット	G	122.12	122.12
米ドル・円 スポット	H	95.02	95.04	米ドル・円 スポット	H	122.13	122.14
米ドル・円 スポット	G	94.98	95.00	米ドル・円 スポット	G	122.10	122.12
米ドル・円 スポット	H	95.02	95.06	米ドル・円 スポット	H	122.11	122.14

価格差固定	0.05
-------	------

価格差固定	0.04
-------	------




このように、為替相場の水準や方向性ではなく、上記のような価格差(裁定の機会)が生じるかどうか収益確保の決め手になります。

以上は米ドル-円の例ですが、他の通貨ペアでも同様に裁定機会を見出すことが可能です。当戦略においては、取引量の多い通貨ペアを選んで投資します。

- 当戦略においては、収益機会は市場全体の方向性にほとんど左右されません。それよりも、「**いかに裁定機会を捉えるか**」の能力が、運用の巧拙を決定することになります。
- 当戦略においては、STI社のシステムが、広範な対象市場における値動きを常時観測し、裁定機会を発見し、瞬時に取引注文を実行します。一連の投資プロセスは**全てシステムにより自動観測・自動執行されています**。
- 当戦略において、取引対象は24時間動き続ける為替市場の複数の通貨ペア(例:米ドル対円、ユーロ対米ドル)、複数の取引業者にまたがり、かつ市場の価格変化が高速であるため、この投資プロセスをシステムを用いた自動執行によらずに実行することは困難です。STI社は、その独自のシステムを活用することで、**高度な裁定取引能力を発揮しています**。

運用会社グループ紹介


STIフィナンシャル・グループ (STI Financial Group) について

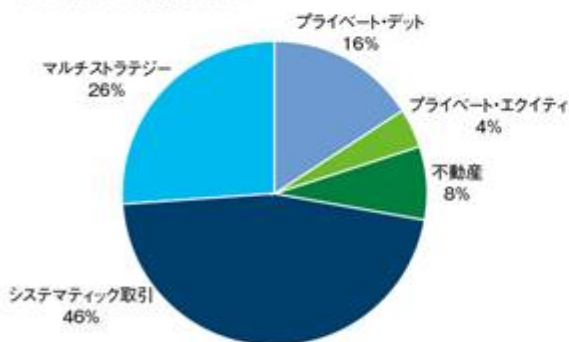
概要

- 2005年の設立以降、アジア地域に特化した、多様な運用サービスを提供しています。
- 香港拠点を中心にビジネスを展開させており、香港、台北、ロサンゼルス、東京といった各拠点にも運用プロフェッショナルを配置しています。
- システマティック取引戦略のみならず、不動産、未公開株式、融資などを投資対象とした運用を行っています。
- 10年超の期間において良好な運用実績を実現させています。グレーター・チャイナ地域の富裕層個人投資家および法人投資家の資金、総額約13億米ドルの資産を運用しています。
- 投資顧問会社、取引先法人等と強固なネットワークを構築し、その専門的見解・情報を得ています。

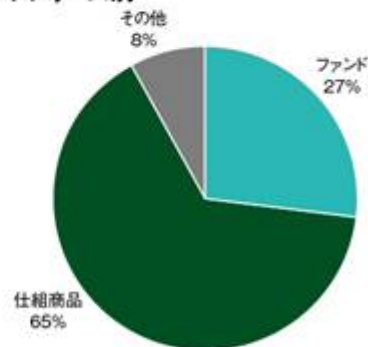
提供している運用プラットフォーム

投資ファンド		仕組商品	個別仕様ソリューション
プライベート・エクイティ	プライベート・デット	不動産	システマティック取引
ベンチャー・キャピタル	ミドル・マーケット融資	開発	為替スポット裁定取引
グロース・キャピタル	有担保ファイナンス	買収・譲渡	統計手法裁定取引
レバレッジド・バイアウト	スペシャル・シチュエーション	デット	トレンド・フォロー取引
スペシャル・シチュエーション		資産管理	
ファンド・オブ・ファンズ			

運用戦略別残高内訳



プラットフォーム別



上記いずれも2018年12月末時点

特徴・優位性

多様なバックグラウンドを持つ人材で構成された専門家集団	良好かつ確固とした運用成績	多様かつ多数の投資家により選ばれた実績	投資家毎の運用目標に沿って提供される運用戦略・投資手段	卓越したテクノロジー知識を利用した調査・分析
-----------------------------	---------------	---------------------	-----------------------------	------------------------

(略)

(3) 【ファンドの仕組み】

< 訂正前 >

(略)

委託会社の概況（2019年1月末現在）

1) 資本金

2億8,000万円

(略)

3) 大株主の状況

名 称	住 所	所有株数	所有比率
iホールディングス株式会社	東京都港区六本木一丁目6番1号	4,248株	60%
あい証券株式会社	東京都港区六本木一丁目6番1号	2,832株	40%

(略)

< 訂正後 >

(略)

委託会社の概況（2019年3月26日現在）

1) 資本金

3億3,000万円

(略)

3) 大株主の状況

名 称	住 所	所有株数	所有比率
iホールディングス株式会社	東京都港区六本木一丁目6番1号	4,368株	60%
あい証券株式会社	東京都港区六本木一丁目6番1号	2,912株	40%

(略)

第2【管理及び運営】

2【換金（解約）手続等】

<訂正前>

(略)

(5)解約価額

解約請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

(略)

<訂正後>

(略)

(5)解約価額

解約請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた額とします。

(略)

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

< 訂正前 >

(1) 資本金の額等

2019年1月末現在の委託会社の資本金の額：	280,000,000円
委託会社が発行する株式総数：	8,000株
発行済株式総数：	7,080株
最近5年間における資本金の額の増減：	2014年9月12日に55,000,000円の増資 2015年2月27日に160,000,000円の増資 2016年3月25日に1,420,000,000円の減資 2016年9月29日に25,000,000円の増資 2016年12月28日に35,000,000円の増資 2017年2月24日に42,500,000円の増資 2017年3月27日に102,500,000円の減資 2017年12月25日に25,000,000円の増資 2018年2月26日に85,000,000円の増資 2018年3月26日に50,000,000円の増資 2018年12月27日に100,000,000円の減資 2018年12月27日に120,000,000円の増資

(略)

< 訂正後 >

(1) 資本金の額等

2019年3月26日現在の委託会社の資本金の額：	330,000,000円
委託会社が発行する株式総数：	8,000株
発行済株式総数：	7,280株
最近5年間における資本金の額の増減：	2014年9月12日に55,000,000円の増資 2015年2月27日に160,000,000円の増資 2016年3月25日に1,420,000,000円の減資 2016年9月29日に25,000,000円の増資 2016年12月28日に35,000,000円の増資 2017年2月24日に42,500,000円の増資 2017年3月27日に102,500,000円の減資 2017年12月25日に25,000,000円の増資 2018年2月26日に85,000,000円の増資 2018年3月26日に50,000,000円の増資 2018年12月27日に100,000,000円の減資 2018年12月27日に120,000,000円の増資 2019年3月26日に50,000,000円の増資

(略)